

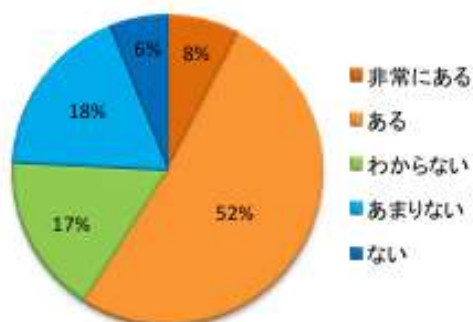
◆ 法医学に関するアンケート 2013 年度

アンケート実施日： 2013 年 法医学 3 学年講義 初日 5 月 23 日

アンケート回答者数： 学生数 約 115 名中 66 名

Q1 法医学に関心があるか

66 名	回答数
非常にある	5 (8%)
ある	34 (52%)
わからない	11 (17%)
あまりない	12 (18%)
ない	4 (6%)



Q1 で“非常にある”, “ある”と答えたその理由

該当 39 名	回答数
1 マスコミを介して	0 (0%)
2 犯罪解決に導く	19 (49%)
3 本, ドラマを介して	16 (41%)
4 現場で刑事のよう	2 (5%)
5 臨床と関与深い	5 (13%)
6 法医解剖知りたい	16 (41%)
7 法廷で活躍できる	2 (5%)
8 見逃防止に役立つ	14 (36%)
9 再発防止に役立つ	4 (10%)
10 大災害活動できる	3 (8%)
11 その他	4 (10%)

(記述回答)

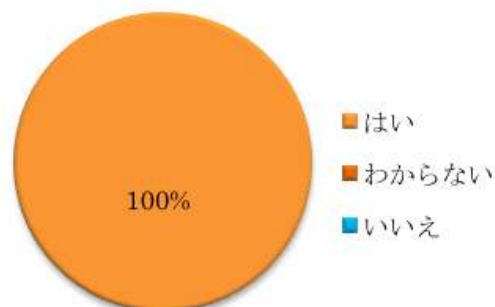
本： 海堂尊作品、死体を科学する
 ドラマ： ブルドクター、VOICE、相棒、
 CSI、サイン、神様のクイズ、など

(記述回答)

- ・理数系というより人文社会に近いので
- ・次世代の医療につながる
- ・授業を聞いて死因について考えることが、やりがいがありそう。
- ・親族に警察関係者がいるため

Q2 法医学は社会的に必要なだと思うか

66 名	回答数
はい	66 (100%)
いいえ	0 (0%)
わからない	0 (0%)



Q3 法医学のイメージを一言でいうと

- ・法医・司法解剖(9人)
- ・死因究明(7人)
- ・犯罪・事件の解明(7人)
- ・暗い, 怖い(3人)
- ・警察(2人)
- ・死者の「声」を聞く(2人)
- ・冷静で分析的(2人)
- (その他)

推理、グロテスク、かっこいい、死後の審判、裏とか陰とか・・・、ヒトではなく人への探究心、表立って目立つものではないけど社会にとって必要なもの、休みが取れず忙しい、興味はあるが実態がよくわからない、毎日変死体と向き合うのは大変そう、患者を治療する医師像とは大きく離れているもの、不人気、解剖室の中でフル装備、真実を見抜く、死を相手にする学問、ずっと死者を相手にしている、大変で危ない

Q4 法医医師になってみたいか

66名	回答数
非常に思う	1 (2%)
思う	2 (3%)
わからない	24 (36%)
あまり思わない	28 (42%)
思わない	11 (17%)



Q4で“あまり思わない”, “思わない”と答えたその理由

該当 39名	回答数
1 臨床医になりたい	31 (79%)
2 学問的に関心なし	4 (10%)
3 キャリアパス不透明	5 (13%)
4 給料が安い	1 (3%)
5 感謝・尊敬されない	1 (3%)
6 活躍の場が限定	6 (15%)
7 仕事が地味	2 (5%)
8 傷んだ死体が苦手	7 (18%)
9 人間関係難しそう	0 (0%)
10 その他	7 (18%)

(記述回答)

- ・死んだ人間に感謝されるより生きた人間に感謝されたい
- ・医師は生きている人の役に立つものだという気持ちがあります
- ・家族親族が臨床医の方を希望している
- ・常に死体を相手にするのが辛い
- ・詳しいことがわからない
- ・どこかで法医学、解剖学者の寿命が短いと聞いたことがある。
- ・相手が治らない、やりがいを見出せない。